

# HSK

# どうじん

第 67 号

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可  
H. S. K通巻312号

発行日 平成10年3月10日  
(毎月10日発行)

編集 北海道腎臓病患者連絡協議会  
札幌市北区北35条西5丁目1-10  
ブレンズ南麻生308号

発行 北海道身体障害者団体定期刊行物協会  
札幌市西区八軒8条東5丁目4-18  
細川 久美子

平成10年 初春号 (PR版)

「貴方のご参加を腎友会は  
お待ちしております」



早 春

撮影 阿部 輝昭氏

北海道腎臓病患者連絡協議会

# 今年寅年、活力ある新年に

北海道腎臓病患者連絡協議会

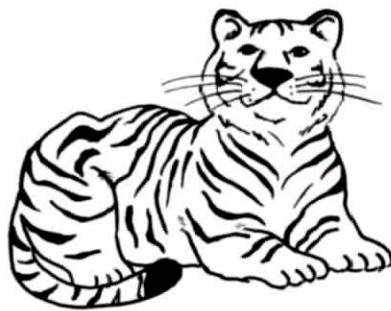
会長 岩崎 薫



金融破綻が相次ぎ、倒産疾風が吹き荒れた1997年も、多くの課題を積み残した「年越し」だけに、さまざまな思いが交錯する1年でした。年明け早々のブルーハウス倒産に始まり11月の拓銀の経営破綻、山一證券の破綻等々、私共庶民にとって1日／＼が不安と先行き不透明な「年」でした。そのことが患者

会にとっても福祉施策の面で、直接間接的に波及するとあって、日々憂慮される年でした。今年寅年。虎は干支の三番目、肉食目ネコ科の動物です。ライオンが「アフリカの百獣の王」なら虎は「アジアの百獣の王」です。ウスリ（ロシアと中国の国境地帯）中国大陸朝鮮半島、東南アジアなど温帯から熱帯地方にかけて広く生息していますが、日本列島には野性の虎はいません。

が記されています。生きた虎が日本にきたのは寛平2年（890年）といわれその後江戸時代には虎は見せ物として江戸、大坂（大阪）などを回っていたようです。多くの人が虎を見られるようになったのは、動物園が普及するようになってからです。しかし虎はことわざなどによく登場し昔から親しまれています。だれでも知っている「虎の子」は大切なもの秘蔵のものということ。虎穴に入らずんば虎児を得ず。も虎の子が貴重なものという意味から、危険を冒さなければ（虎の住んでいる穴に入らなければ）成功は得られないということです。また、虎は強いもの、恐ろしいもの、ものゝたとえによく使われます。「虎視眈々」「虎の



カット：岩崎仁美

威を借る狐「虎の尾を踏む」、虎は千里往って千里還る」「虎は飢えても死肉を食わず」「虎は死して皮を残す」など枚挙にいとまがありません。ただし酔っ払いの大トラはいただけません。いずれにしても昨年は明るい話題の少ない年でした。今年虎のように威勢よく頑張りたいたいものです。それと同時に私達患者は「貴方まかせ」の悠長なことでは今年の難局はのり切れません。患者の皆様への命がけの気迫で運動を進めることを再認識し一人ひとり行動に移してほしい。張り子のトラの無力を脱し今年こそ活力のある寅年にしたいものです。

昭和40年代初期に、腎不全患者に対して人工透析という画期的な治療法が施されるようになり、これまで死をまつより仕方のなかった人たちに延命が可能になってきました。

ところが、これには厚い壁がありました。

人工透析に対する治療費の自己負担が当時の金額で毎月20万円くらいになり、負担能力もない人は、人工透析

という治療法があることを知りながら、亡くなっていました。また、透析を初めても医療費が続かずに自ら生命を断った人もいました。即ち、「治療費の切れ目<sup>いのち</sup>の生命の切れ目」でした。また、一部の人は治療を受けられませんでした。

この様に厳しい状況下にあった当時の先輩達は、人

工透析の治療費を公費負担に、人工腎臓を全国に設置してほしいと立ちあがり、昭和46年6月6日に全国腎臓病患者連絡協議会（全腎協）を結成しました。

患者の中には、入院していることが多いので、ある



いは高齢のため活動できなくて皆さんに迷惑をかけるから腎友会に加入しませんという方がおられます。決して

そんなことはありません。

会費を払っていただき、配布される印刷物を読んで

もらうだけでもよいのです。

『1人でも多くの方が入会される事により腎友会は大きな力を発揮できるのです。』

# 腎友会はこんな活動をしていきます

## 《道腎協はどんなところ!?》

透析患者の皆さん、この冬の厳しい寒さをいかがすごされたでしょうか。あたたかな風薫る春が待遠しいですね。今回は、道腎協が日頃どのような活動をしているか、お話ししたいと思います。



ブロック会議での役員研修

道腎協は他の都府県と違い、組織の形態が広大な地域が集合した地方腎友会、市単位の腎友会、また一部病院患者会単独での加盟と多岐にわたっています。その広さから、連絡を取ったり、一日がかりで全道から集まって会議する不便さがありますが、その活動には独特のものがあります。全国と共通のもの、各地方ブロックと連絡を取り合い活動する道腎協独自のもの、また各地方ブロックでの工夫された活動など、順を追って見ていきたいと思います。

### 〈道腎協と全腎協〉

全国共通の活動としては、まず全腎協の年度の国会請願・署名募金運動があります。これは「腎疾患総合対策」の早期確立を要望するもので、昭和46年から毎年行

われており、この運動あればこそ、今、治療費の心配なく誰でも透析を受けられるようになったと言えるものです。近年では、医療福祉の後退に歯止めをかけるため、JPC（日本患者・家族団体）の国会請願・募金活動にも取り組んでいます。最近では、有料道路通行料金の内部障害者割引適用も署名運動し国会請願で実現したものです。

また、年一度の全国一斉腎登録街頭キャンペーンは昨年で17回を迎えました。昨年は臓器移植法の施行もあり、死後の腎提供を訴えるチラシやポケットティッシュとともに、「臓器提供の意思表示カード」も配布しました。

その他、難病・障害者問題等も、透析患者とかかわりのあるものを通して、難病連など他団体と協力して活動しています。また全腎協

の機関紙の配布は、全国の社会保険・福祉・医療関係の情報を全国の会員にすみずみまで届けることとなります。



全国一斉腎登録街頭キャンペーン

### 〈道腎協と各地方ブロック〉

春の陽ざしの中、5月末には全

道の会員が参集し、道腎協の定期総会と交流会が開催されます。最近では、1泊2日で各地で開かれ、総会では、昨年度の報告と今年度の計画が話し合われます。交流会は数少ない道全体の親睦交流でもあり、開催地の地方ブロックでは楽しい企画を考えており、参加した人にとっては思い出深いものとなるようです。今年の総会は前日の交流会はありませんが十勝で開かれます。皆さんも是非参加を！

道の行政への対応では、地方からの透析患者の声を道政に届けるべく活動することが多くあります。道から助成されている通院交通費のことや、最近では5年越しの陳情活動が実り、道立羽幌病院が平成9年度から夜間透析を開始しています。また、平成7年1月から入院給食費が有料になり、「入院給食費の値（重度心身障害者医療助成事業）適用、無料化」の請願運動を展開しましたが、残念ながら実現されませんでした。今後も継続して経過を見て行く予定です。

更生医療、交通費その他患者の生活向上のため、少しでも心配なく透析治療が受けられるよう、

道腎協会長と事務局長が折にふれ道庁を訪問し、コンタクトを取っています。

また道腎協の機関紙「どうじん」は年5回程発行し、社会保障・福祉・医療情報や各ブロックの活動等多くの会員に楽しく見ていただけるよう作成しています。

### 〈各地方ブロックの活動〉



炊事遠足

21ある各地方ブロックでは、地元の特徴を考慮し、会員の生活向上のため活動しており、それぞれの市町村への通院交通費等の交渉

なども行っています。札幌では福祉タクシークケットの増額が署名運動により実現しました。江別でも福祉タクシークケットの増額の請願を行っています。室蘭伊達ブロックでは福祉タクシークケットをガソリン代に変更要請準備中、釧路では通院交通費助成増額を求める要望書を市に提出するなど、各地で市町村への盛んな働きかけを行っています。

各地では独自の活動、講演会・研修会・親睦交流・各種レクリエーションの行事が工夫して開かれています。道南では独自の災害手帳を作り会員に配布しています。岩見沢では患者会の「血清P値の管理」の勉強会、滝川では旭川泌尿器科クリニックと合同の山登り、道東6地区（釧路・十勝・北見・紋別・オホーツク・根室）では合同学習交流会も開かれています。

各地それぞれの、お花見・山菜とり・一泊旅行・ポーリング大会・炊事遠足等のレクリエーションでは、同じ透析患者同志、また家族や病院スタッフも参加し、悩みを話し合ったり、食事健康管理、合併症などの情報交換の場にもなっ

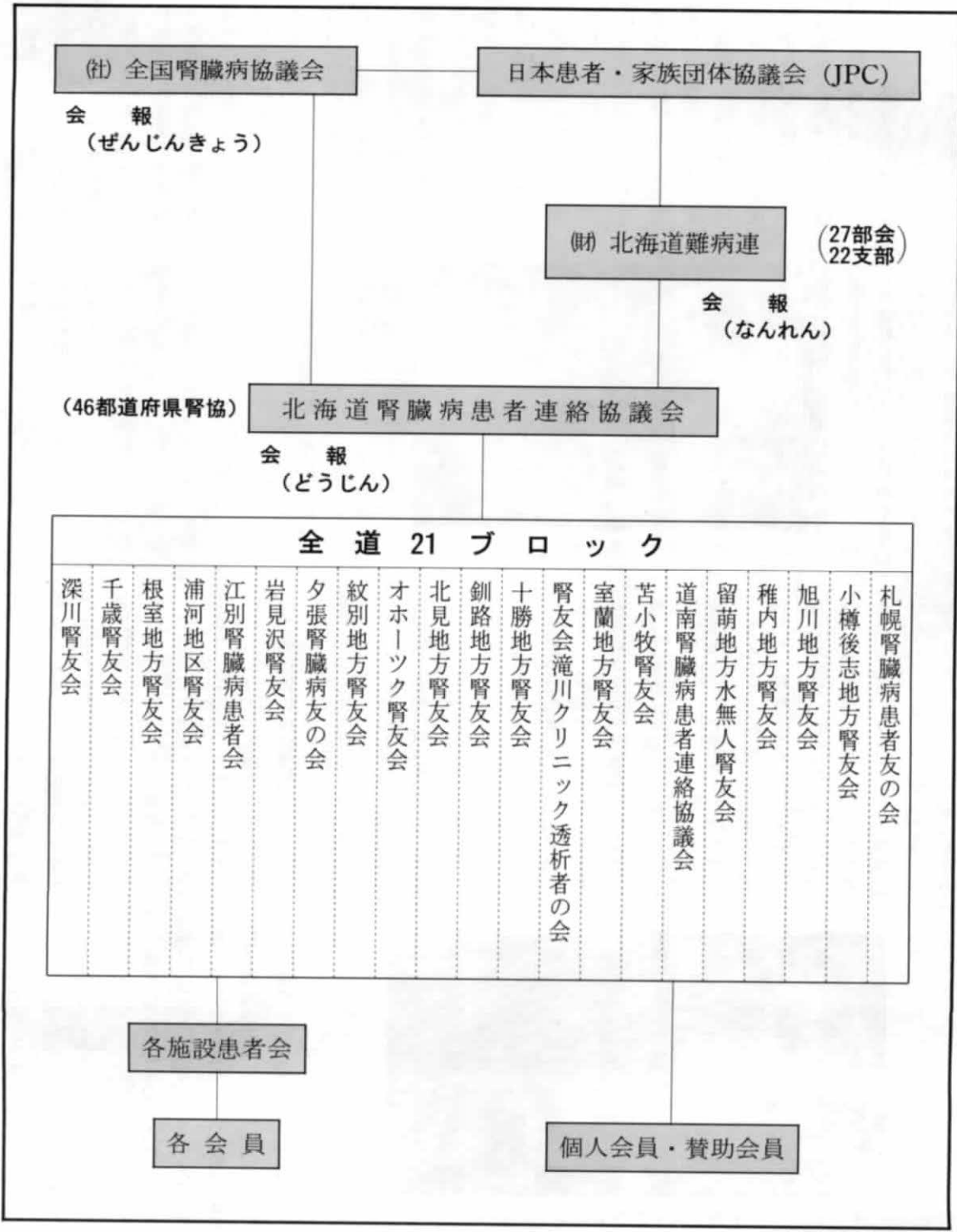
ています。また同じ楽しみを共有することで、今日に、そして明日に生きる力を養う場ともなっているようです。

皆さん、このような活動を道腎協は行っています。一人一人の会員の参加が会を支えています。そして道腎協も一人一人の方々の支えになりたいと考えています。一人でも多くの方の入会をお待ちしております。



日帰り温泉旅行なども

# 腎友会組織図



## 道腎協加盟組織一覧表

会 名	〒	住 所	電 話
札幌腎臓病患者友の会		札幌市東区	
小樽後志地方腎友会	047-0024	小樽市花園2丁目7番10号 齊藤ダンススクール内	0134-23-3484
旭川地方腎友会	070-0000	旭川市1条11丁目右8号 腎友会ビル(株)健生社内 大石聡宛	0166-24-2936
稚内地方腎友会	097-0022	稚内市中央4丁目11番6号 市立病院 透析室内	0162-32-8134
留萌地方水無人腎友会	077-0038	留萌市寿町1丁目 市立総合病院 透析室内	01644-2-1500
道南腎臓病患者連絡協議会	041-0941	函館市深堀町36番9号 渡辺内科泌尿器科	0138-55-1185
苫小牧腎友会		苫小牧市	
室蘭地方腎友会	050-0083	室蘭市東町2-1-19 室蘭市障害者総合福祉センター内	0143-45-6849
腎友会滝川クリニック透析者の会	073-0045	滝川市有明町2丁目4-45 腎友会滝川クリニック 透析室内	0125-24-2125
十勝地方腎友会		広尾郡大樹町	
釧路地方腎友会	085-0003	釧路市川北4-17 身体障害者福祉センター内	0154-23-6687
北見地方腎友会		北見市	
オホーツク腎友会		網走市	
紋別地方腎友会		紋別郡遠軽町	
夕張腎臓病友の会		夕張市	
岩見沢腎友会		樺戸郡月形町北農場	
江別腎臓病患者会	069-0817	江別市野幌町代々木町81の6 溪和会江別病院 透析室内	011-382-1111
浦河地区腎友会		浦河郡常盤町	
根室地方腎友会		根室市曙町	
千歳腎友会		千歳市	
深川腎友会	074-0005	深川市5条5番10号 深川市立総合病院 透析室内	01642-2-1101
北海道腎臓病患者連絡協議会	001-0035	札幌市北区北35条西5丁目1番10号 フレンズ南麻生308号	011-747-0217
(社)全国腎臓病協議会	171-0031	東京都豊島区目白2-38-2 紫山会ビル	03-3985-7760

# 患者会活動の歴史

## 1 全国腎臓病患者連絡協議会(全腎協)の設立

(現在は社団法人全国腎臓病協議会)

全腎協が結成されて今年で26年になります。大変だった全腎協結成当時のことを紹介します。

私は昭和45年(1970年)5月12日に透析を始めましたので、私の経験も含めて話しをしたいと思います。

その頃の透析は、人工腎臓と言いまして、看護婦さんが毎回透析膜を張り替える、スタンダードキールという機械で、除水(水引き)をするのに、排水の管を下に下げ、サイホンの原理で除水する、原始的なものでした。また、一回8時間、週2回しか透析に入れませんでしたので、ヘマトクリットも20以下と低く、歩くのがやっと

という状態で、本当に生きているだけの治療でした。

それから医療費でみても、昭和42年12月に医療保険の対象になっていましたので、社会保険(会社員や公務員などの保険)の本人は自己負担はありませんでしたが、社会保険の家族は5割負担。国民健康保険は、本人家族とも3割負担で、一カ月に10万円から30万円の自己負担があり、私も国民健康保険でしたので、透析患者が昭和47年10月に身体障害者福祉法の適用になり、更生医療が使えるようになるまで、透析医療費を自己負担しました。そうです「金の切れ目が生命の切れ目」と言われるほどお金がかかり、社会保険本人か、このお金を払える人だけが、人工腎臓に入れました。

しかし、お金だけ有れば人工腎臓に入れるわけではありませんでした。その頃は人工腎臓の数が絶

対的に不足していました。昭和45年全国で666台、46年で1,575台しかなく、人工腎臓を必要とする患者が、年間5,000人とも10,000人とも言われて

いましたので、医師たちはなんらかの患者の選択をしました。社会保険本人や世帯の柱となる患者が優先され、結果として男性が圧倒的に多く、女性や子供はなかなか人工腎臓には入れませんでした。

そして、運良く人工腎臓に入れたとしても、国民健康保険の人は、医療費を捻出するために貯金を使い、いはたし、田畑や家屋敷を売払い、それがいやだと思えば、自らの命を断つ人もいました。それから、会社員の奥さんで生活保護や医療保護を受けるために形の上で離婚しているうちに、本当に離婚された人など、悲劇的な話しは全国にたくさんありました。

この様な状況の中、人工腎臓の

医療費を全額公費負担に、人工腎臓患者を身体障害者に、人工腎臓を全国的に増設して欲しい」と、

全国の患者が立ち上がり、昭和46年(1971年)6月6日に、日本大学医学部付属板橋病院患者会「ニールの会」が中心になり、福島・富山・愛知・兵庫・広島などの県組織と、各施設の患者会が集まり全腎協が結成されました。この結成大会には、250人ほどの患者・家族・関係者が集まりましたが、その中に札幌・中野医院の

新山さんもいたそうです。

全腎協結成第1回準備会が開かれたのは3月11日、その約1カ月前、(第56回国会衆議院社労委員会議事録)によると、国会で時の厚生大臣が次のような答弁をしていました。「人工腎臓というものが腎臓疾患に対する最終的な、あるいは当面の一番良い方法のようにも思いません。あんなものをベットの



の上に寝て、一日中血液の交換を、5日に一ぺんか6日に二へんやらなければならぬと言ふような状態が、果たして腎臓の本当の治療法として最終的なものと思えませんか。腎臓というものは二つあるわけですから、お母さんの腎臓をとって娘にいらたり、亭主の腎臓をとって奥さんにいれるという種類のものもございませぬので、心臓移植などとは違ふものであるように思いますので、むしろ移植のほうが手っ取りばやいということも考えられましようし、あの不便な人工腎臓のような仕組みが緊急の対策として一番良いものではないと思ひますが、…(中略)…更に検討してみます。」

要するに、腎臓移植など最良の方法を研究するので、それまでの間人工腎臓治療を受ければ救える人でも、見殺しにするということでありませぬ。

それから4カ月後に全腎協が結成され、その翌翌日6月8日に同じ内田厚生大臣に面会し、その厚生大臣が、「人工腎臓の台数を増やす。」と全腎協に約束、厚生省が約10億円の腎不全対策費を予算要求

しましたが、大蔵省によつて約5億円で削減されました。

#### ○全腎協発足1年目

全腎協初年度の会費は、加盟団体毎に年2,000円(入会金1,000円)個人会員は会費なし(入会金500円)だったので、当時の役員は手弁当の上、交通費も自費がほとんどでした。

役員だけでなく、当時約1,500人の患者も、全員一丸となつて活動に参加しました。10月に行つた第一次国会請願は、短期間にしてはかなり多くの署名を集めることができ、その熱意の一端を表したものと云えます。その後、毎年欠かさずに今年3月の請願で、27回の国会請願を続けています。

そして、「腎臓病患者」という、それだけの共通点だけで、役員の職業も(すでに多くの人は失職)、思想も、信条も、当然ながら別々で、組織活動の経験のある人も少なく、厚生省・大蔵省などの役所や国会などに足を踏み入れたことのある人はほとんどいませんでしたので、担当の窓口がわからず、

役所の中をウロウロし、疲れはてて記者クラブの長椅子で休ませて

もらつたこともしばしばでした。そんな五里霧中の運動を、先輩の患者団体や関係医師、国会議員などの方々に援助してもらい、また自らも法律や制度や行政の機構なども学びながら全国の仲間と活動していきました。

#### ○身体障害者福祉法の改正をめぐつて

昭和47年6月(1972年)身体障害者福祉法の一部を改正する法案が国会に提出されたとき、「腎臓機能障害者が身体障害者としての適用を受けるのは結構だが、スモン・ペーチェット・リニューマチとかその他内部機能障害も加えるべきではないか。」といった質問が、野党議員ばかりではなく、与党の社労理事(その後厚生大臣になつた橋本龍太郎氏)からも出されました。

これに対する厚生省当局の答弁を要約すると

#### ① 透析医療が更生医療の範囲に入る

#### ② 年間200万円の医療費に耐えられる国民はいない

との2点でありました。そして第1点の補足として、「更

生医療の対象にするということのためには、一応外科的な処置というか、治療によつて永続する障害が軽減される。またはそういう状態が永続することによつて、社会復帰が可能になる。」といったような答弁で、他の疾患はまったく取り上げられませんでした。

そして、この様な活動のおかげで、今日、人工透析の医療費の公費負担や、人工透析機の増設など、さまざまな社会的対策が実現しました。透析治療や腎臓移植など、腎不全患者をめぐる医学的な条件も飛躍的に向上しました。多くの腎臓病患者が治療しながら社会復帰をしています。

これは、全腎協を中心とした先輩活動家たちの「命を賭けた」運動のおかげだと私は思います。

#### ○アメリカの医療費と日本の医療費

アメリカの透析医療費は、メディケア(公費負担)・メディケイド(医療保護)によつてまかなわれます。1973年より定額払い(人工腎臓技術料、ダイアライザー代金、基本的検査・薬剤の費用がすべて含まれる)による公費負担が

導入されて以来、1973年から1983年まで据え置かれ、1983年に独立型施設で8%、病院付属型で18%引き下げられ、86年には更に1%下げられました。透析以外の医療費はこの間に3倍になっていきます。

このために、透析施設の経営を圧迫し、透析時間の短縮(原則的に3時間)やダイアライザーの再使用(1980年は19%、1990年は70%)、職員水準の引き下げ(人員削減や無資格技術員など)などにつながっています。

また、自己負担も年間1,000ドルくらいあります。

1回の透析料は、125~127ドルで月1,800ドルくらい、日本では1回3万円月40万円くらいです。

厚生省では、毎年ふくらむ透析医療費を削減しようと、この様なアメリカの真似をしようとしているのです。日本の透析医療費は、昭和53年(1978年)2月1日に初めて30%くらい引き下げられて以来、数度にわたって引き下げられ、現在は初めてのころの40%位までなっています。

また、平成4年(1992年)

4月からは、外来透析患者の血液検査料が2,5000点の定額制になり、更に、平成6年(1994年)4月からは、外来透析患者の人工腎臓料が包括化されました。これは私たちが最も恐れていたことで、今後、この様な厚生省の動きに反対する活動を、全腎協を中心に行っていくなければいけないと思います。

## 2 北海道腎臓病患者連絡協議会(道腎協)の設立

昭和52年3月6日(1977年)

札幌・苫小牧・室蘭・函館・留萌・旭川・北見・釧路8地区の代表40名が集まり、「道腎協」発足準備会が開かれ、会長細川哲夫氏、事務局長阿部隆氏、会計・総務担当留目英生氏が役員候補として選出され、同年5月8日札幌市月寒公民館において、「札幌腎臓病患者友の会」第4回総会で、「道腎協発足準備委員会」の設立を議決した。そして、その年の10月1日赤く熟したナナカマドと紅葉の円山に近い、サッポロハイツを会場に全腎協小

林事務局長をお迎えして結成総会を開催、前記役員と7ブロックにすることを決定した。

なお、広大な北海道の患者会を一つにまとめようと、今は亡き留目英生氏と、その夫人恭子さんの、足で歩いた活動は、今も語り継がれています。

## 3 財団法人「北海道難病連」の設立

昭和48年2月、北海道の難病患者・家族の会員・団体、およそ1,000家族が集まり、北海道難病

団体連絡協議会が結成され、集団検診や、難病患者の命を守る活動を続けていました。

それから約10年、北海道難病センター開設を機に、昭和57年12月23日に、23団体、4,800家族で、財団法人「北海道難病連」を設立しました。

現在では、29部会、22支部、約1万家族で運営され、毎年、難病検診や、全道集会、合同レクリエーション、各相談事業などを実施しています。

札幌腎友会としては、北海道の

補助金を貰うために、昭和49年に入りました。その後、道腎協が昭和52年10月17日に加入するまで入っていました。それからは、道腎協の1ブロックとして、今でも各行事や物品販売など、難病連の事業には協力しています。

## 4 日本患者家族団体協議会(JJPC)の設立

全腎協が、昭和53年4月2日「ゆ

たかな医療と福祉をめざす全国患者・家族集会」に参加以来活動を続け、昭和58年6月12日(JJPC)の前身である「ゆたかな医療と福祉をめざす全国患者・家族団体連絡会」を結成し、第1回代表者会議を開く。そして昭和61年6月15日、全腎協・北海道難病連など31団体が加盟して、日本患者・家族団体協議会(JJPC)が設立され、毎年「ゆたかな医療と福祉をめざす」国会請願などの活動をしています。最近では、特定疾患医療費の一部負担反対の座り込み運動もしています。

(副会長・鈴木 啓三)

# 投稿

## 釧根での『最長期透析者の死』

釧路地方腎友会 相談役 上田 弘

生あるも  
の何時かは  
死の道を辿  
る事になる。

人間も例外ではなく、必ず『死』  
という到着点を向かえる事になっ  
ている。

新聞の死亡広告欄を見ていると、  
毎日のように大勢の人が死亡した  
事を知らせているその死亡広告に  
目を通して、自分の友人・知  
人の名前を見つけた時は、『あの人  
が何故』と心が揺れることがあります。

1998年の新年を迎えて間も  
なくの頃、釧路・根室地方で長期  
に透析を受けていた患者さんの名  
前を見つけた。

その人の名は『今村ツヤ子』さ  
んという女性の方で、1975年  
(S50年)12月から旧市立釧路総  
合病院(手術場横の小部屋)で透  
析を開始して、この小部屋で  
透析を受けて今迄生存していたの  
は、私より1ヶ月早くから透析を  
受けていた今村さんと私だけとなっ  
ていました。

今でこそ透析技術は、全国どこ

でも同じような内容で行われてい  
ると思いますが、市立釧路総合病  
院での昭和50年・51年の初旬頃迄  
においては、患者は勿論、病院ス  
タッフにおいても本当に手探りの  
状態であり、専任の看護婦も配置  
されず、手術場の看護婦さんが交  
替で透析を担当していた時代でし  
た。

このような状況ですから、長期  
生存の見通しは皆無という状態で、  
導入された患者さんが、実際に次  
から次へと死亡していくのを見て  
いたという状況の時代でした。

それでも『数年は何とか生きれ  
るのではないか』と感じ取れたの  
は昭和51年の中旬頃で、病院増築  
の病棟に専用の透析室が作られ、  
透析機器も新しくなってからのこ  
とでした。

この頃から今村さんを含め、当  
時の患者全員で『透析患者同志助  
け合おう』という事で『腎友会』  
を結成する段取りになったのであ  
ります。

ヘマトクリットが10%台の時で  
したから、患者さんが集まれば『食  
べ物』のことを話しあい、レバー

を食べた、ユッケを食べたなどと  
いって、自分が食べて効果のあつ  
たような食べ物について話し合い、  
またカロリー計算も患者同志で勉  
強していた時代でした。

このような状況の中で、今村さ  
んは先輩患者として、腎友会の各  
種行事に御主人共々積極的に参加  
され、多くの患者さんと一緒になっ  
て行事の推進役として活動して下  
さいました。

安定透析期に入り、腎友会結成  
10年の表彰そして一昨年の結成20  
年には共に透析20年表彰を受け、『透

析患者の生存年数の記録更新』の  
ために、共に頑張る事を誓ったの  
でありました。

しかし、今村さんは自宅で入浴  
を終え、風呂に蓋をした状態で風  
呂場で倒れていたということで、  
誠に残念ながら透析22年にて人生  
の終着点を迎えたということであ  
りました。

腎臓病の末期状態になった透析  
患者は、透析を続けている限り、  
自分の悪くしている『腎臓そのも  
のでは死なない』という事をこの  
今村さんの死によっても知らされ  
たのであります。

今村さんの死により、私は釧路・  
根室地方での長期透析患者の順位  
が2番目となりました。私の前に  
は、今村さんより5日後に導入さ  
れた女性の方です。しかし私にとっ  
て同じ市立釧路総合病院の手術場  
横で導入されたという意味では、  
やはり今村さんの死は大変ショッ  
クでありました。

『先輩患者の死』、目標にしてい  
た近くの人々の死は、自分にとって  
目標を失ったような気持ちにもな  
り、『次は自分の番では』と考える  
のは、私だけではありませんか……。  
身体に不都合な所があればある  
ほど、次は自分と思う気持ちは強  
くなるのではないのでしょうか……。  
これも時間が解決するでしょう



『写真は、透析20年の4人  
(一番左が私で、その隣が今村さん)』

## 特定疾患の公費医療に患者負担導入

### 透析患者（特定疾病）の

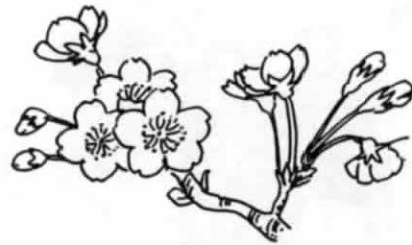
### 公費医療制度に影響必至か

昨年9月に厚生省の審議会が特定疾患治療事業（難病の公費医療制度）に患者負担を導入することを答申して以後、JPCと全難連などによる共同委員会はハガキ要請運動、ポスター掲示運動、再三の厚生省交渉や年末の厚生省前での座込みなどを通じて強く反対して来ましたが、患者の反対を押し切って、昨年末に閣議決定された来年度政府予算案にこの患者負担が盛り込まれました。

厚生省が決めた患者負担額は、①入院患者は月額1万4千円（食費療養費を含む）、②外来患者は1医療機関1日千円（月2回限度、薬剤費患者負担分含む）とされて

います。

厚生省によれば、難病のため著しい支障のある重症患者（別に認定基準あり）とみなされた患者と、スモン病、ヤコブ病、劇症肝炎、重症急性膵炎の4疾患を除く受給者証所持者の特定疾患患者の9割に患者負担が課せられるという。厚生省はこの5月1日から実施したいとしていましたが今国会で本決まりとなりましたので、更生医療など透析の公費医療制度にも重大な影響を及ぼす事は必至と思われる、各地域で地元選出の国会議員に患者の実態を訴えるなどの働きかけを強めましょう。



### 表紙の写真

○題 「早春」

○撮影者

阿部輝昭氏(54歳)

出身は常呂郡端野町。透析歴は4年半で現在、札幌の中野医院で透析を受ける。北海道銀行に勤務中で、写真歴は3年という事です。

### 編集室から

○パブルが崩壊して久しくなりますが、一向に景気が良くなる気配も感じられず、ここ数年暗いニュースの多かつた世の中に、長野オリンピックでの日本選手の活躍は一条の光となつて日本中を照らし、久しく忘れかけていた感動を呼び起こしてくれました。

特にジャンプの原田選手やスピードスケートの清水選手の活躍は、私たちに大きな勇気を与えてくれた気がします。

○今号は広く腎友会を理解して頂く意味でPR版として全患者さんにお配り致しました。一人でも多くの方に読んでいただければ幸いです。

(ムラモト)



◎腎友会へご入会いただける方は、各施設幹事又は、各ブロック事務局(P7参照)へお申し込み下さい。

## 入 会 申 込 書

平成 年 月 日入会

氏 名	ふりがな	性 別	生 年 月 日
		男・女	明大昭平 年 月 日
住 所	〒 電話		
医療機関名			
透析開始日	●人工透析 ●CAPD ●移植	昭和 平成	年 月 日
職 業 (勤務先)	具体的に		電話
透 析 日	_____曜日 {昼・夜} _____曜日 {昼・夜} _____曜日 {昼・夜}		

-----き-----り-----と-----り-----せ-----ん-----

### 第21回道腎協定期総会十勝大会

総 会

日 時…平成10年5月24日(日)

午前10時～午後12時

(昼食)

—記念医療講演

午後1時～3時

講師 渡井医院(札幌)

院長 渡井 幾 男先生

演題 「動いて食べる事の大切さ」

会 場…音更文化センター

河東郡音更町木野西通15丁目の8

TEL (0155) 3115215

(宿泊)

前日23日(土)御宿泊希望の方

十勝川温泉大平原観光ホテル

1泊2食付 1名 9,000円

(3～4名部屋)

◎参加希望の方は早目に各ブロック事務局へお申し込み下さい。

# 全腎協 島根県全国大会参加

千歳発着

## 出雲大社・玉造温泉と城下町松江の旅

◎ご旅行期間 平成10年5月16日(土)～5月18日(月)

◎ご旅行代金 お一人様 **120,000円** (道腎協会員様は**116,000円**)

日次	月日曜	行 程	食事	宿泊地
1	5/16 (土)	千歳 <small>ANA 56</small> 羽田 <small>ANK 817</small> 米子 11:20 12:50 13:35 14:50 15:10 出雲大社 出雲ドーム 玉造 17:00	- ○ ○	玉造温泉
2	5/17 (日)	ホテル <small>全腎協全国大会</small> 各自 ホテル (10:00-15:00) 大会終了後、希望者 <b>透析</b>	○ - -	松江
3	5/18 (月)	ホテル <small>9:00</small> 松江城・明々庵・武家屋敷・小泉八雲記念館・ 月照寺 <small>ANK 818</small> 米子 <small>ANA 73</small> 羽田 <small>ANA 73</small> 千歳 15:25 16:45 18:00 19:30	○ ○ -	

※発着日時及び交通機関は変更になることがあります。

◎募集人員 20名様 (最少催行人員15名)

◎利用予定ホテル 玉造温泉保性館 (和室2名一室利用)  
 松江ユニバーサルホテル (ツインタイプ利用)

◎申込締切 平成10年4月15日 (但し、定員になり次第締め切ります)

◎添乗員 全行程添乗員同行

※透析費用は旅行代金に含まれておりません。

透析の手配は道腎協にてお手配をさせていただきます。

〈お申し込み・お問い合わせ先〉

近畿日本ツーリスト(株)札幌駅前支店

☎060-0807 札幌市北区北7条西4丁目 新北海道ビルディング1階

TEL 011-716-4711 担当:松本・松岡

後援:北海道腎臓病患者連絡協議会

# ★人工透析海外旅行—\*千歳発着 直航便で行く!

## まつりインハワイ6日間の旅

- ◎ご旅行期間 平成10年6月12日(金)～6月17日(水)
- ◎ご旅行代金 **198,000円** (透析費用別) 子供**180,000円** (2歳～11歳)
- ◎募集人員 15名様 (最少催行人員10名/透析者は10名様迄先着順)
- ◎申込締切日 平成10年5月1日(金) (定員になり次第締切ります)
- ◎全行程添乗員同行 ◎道腎協会員様は**188,000円**となります。

### □日程表

日次	日月曜	発着地/ 滞在地名	発着 現地時間	交通 機関名	機 要	食事
1	1998年 6月12日 (金)	千歳発 ホノルル着	夜 午前	航空機 日付 専用バス	空路、ホノルルへ 変更線 市内観光(希望者のみ) (ヌアヌ・バリ・パンチポールの丘、 イオラニ宮殿などを巡ります。) 途中、レストランにて昼食 (ホノルル泊)	機内 機内 × ×
2	6月13日 (土)	ホノルル滞在	終日		自由行動 ※オプションツアーをご用意してお ります。 夕刻:人工透析(希望者) (ホノルル泊)	朝食 × ×
3	6月14日 (日)	ホノルル滞在	終日		自由行動 (ホノルル泊)	朝食 × ×
4	6月15日 (月)	ホノルル滞在	終日		自由行動 夕刻:人工透析(希望者) (ホノルル泊)	朝食 × ×
5	6月16日 (火)	ホノルル滞在	午前 午後	航空機	専用バスにて空港へ 空路、帰国の途へ (機内泊)	× 機内 機内
6	6月17日 (水)	千歳着	午後		到着通関後、解散	

◎発着日時及び交通機関は変更になることがあります。機内=機内食  
 ◎時間帯の目安について 午前 07:00～12:00 夜 18:00～23:00  
 ◎観光場所 太字:下車観光、細字:車窓観光

#### ◆利用予定ホテル

ハワイアンリージェント又は  
パシフィックビーチクラス

#### ◆利用航空会社

日本航空

#### ◆食事条件 (機内食は含みません)

朝食3回、昼食1回

#### ◆宿泊条件 2名1室(バス・トイレ付)

一人部屋希望の場合は追加料金が必要です。



▲ワイキキビーチ



▲カラカウア通り

### ホノルルでの透析案内

- ★病院: ALOHA DIALYSIS CENTRE (アロハ透析センター)
- ★機械: COBE, Century 2 など
- ★ダイアライザー: GAMBRO LUNDIA (1.0～1.36平方m) 等
- ★ベット数: 18ベット(イス式)
- ★針: 2本針
- ★費用: US\$350 (1回当たり)

### ハワイ・ホノルル

ハワイ諸島は、大小合わせて132の島々から構成される火山島・珊瑚礁島群。  
 全人口110万人(1990年)。太平洋の人種のつぼとよばれるほどの多  
 人種混在社会が特徴。ハワイアン系18%、白人系25%、日経23%、フィ  
 リピン系11.3%、中国系4.7%、全人口の約8割がオアフ島に住んでい  
 ます。

●旅行に関するお問い合わせ・お申し込みは…まずはパンフレットをご請求下さい。

旅行主催 近畿日本ツーリスト株式会社 札幌駅前支店

☎060-0807 札幌市北区北7条西4丁目 新北海道ビル1階 TEL (011) 716-4711 FAX (011) 716-5501

「人工透析海外旅行デスク」 担当: 管野・佐藤(かずゆき)・松岡

後援 北海道腎臓病患者連絡協議会 ※詳しい旅行条件はパンフレットをご参照ください。

やさしい水

どこにもあるの

取水・食事制限中の方にも  
「おいしく飲める水 ROうぶ」

水道中の有害金属アルミニウムを唯一除去可能の「RO」(逆浸透方式)採用  
(水道水には汚濁沈殿の為、毎日大量にポリ塩化アルミニウムが投入されています)



ROうぶ

(1,000 ml) ・ 200円

薬局・薬店、病院売店等にて好評取扱中



「ROうぶ」成分表	
カリウム	0.13 mg/l
ナトリウム	0.79 mg/l
マグネシウム	0.02 mg/l
アルミニウム	0 mg/l

※体に負担のかかる成分は  
取り除いてあります。

■お問い合わせはフリーダイヤルでどうぞ(道腎協とお伝え下さい)



0120-887632

(フリーダイヤル ははなるみず)

◇受付時間 午前9:30～午後5:30(日・祝日を除く)

◇お買い上げ金額2,000円以上は送料無料

株式会社 プロテック

〒003-0021

札幌市白石区栄通13丁目5-10

TEL (011) 854-4132

FAX (011) 854-3999